

※水色と黄色のセルは回答必須。薄緑色セルは任意。申請書の段階から項目3に変更があった場合、直接入力の上書きして下さい。

(一財)全国地域情報化推進協会 御中

報告日 2019年12月5日

派遣決定番号

## 地域情報化アドバイザー制度活用報告書(2日目)

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

### 1. 申請団体情報

#### 1-1. 申請団体

団体名	郡山市	代表者名	品川万里
担当者部署	産業観光部	連絡先電話番号	024-924-2251
担当者役職		担当者氏名	
住所	963-8601 福島県郡山市朝日1丁目23番7号		

#### 1-2. 推薦団体(「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力)

### 2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	森戸 裕一
評価	大変よい
上記評価の理由(どのようなところがよかったか等詳細に)	創業支援事業者にとって、社会情勢の変化(特にIT化)に対応した創業支援の在り方、やり方の変革が求められることが、参加者同士で共有できた。参加者からの個別相談にも応じていただき、きめ細やかな相談対応をしていただいた。また、第3回(フォローアップ)(今回の参加者(創業支援事業者)を含めた森戸氏による公開講座)についても、実施内容について方向性の確認ができた。
アドバイザーへの要望事項	なし

### 3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

	派遣日	開始時刻	終了時刻	内休憩時間(分)	活動時間(分)
3-1. 活動	2019年12月2日	10時00分	17時00分	180	240
3-2. 派遣場所	会場名	郡山市役所	最寄駅	郡山駅	
	所在地	郡山市朝日1丁目23番7号			
	最寄駅からの交通手段	バス又はタクシー			

### 4. 報告書に関するAPPLICホームページへの掲載許可

掲載許可	<input checked="" type="radio"/> 掲載可
------	--------------------------------------

### 5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性(職員、一般、企業等)について【自由記述】	人数
	創業支援事業者(金融機関、商工会議所等)	12人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果		
事業の課題・問題点(具体的にご記入下さい)	創業支援事業者(本市、民間事業者)同士による創業支援施策を上手く連携させて、創業希望者のフォローを継続していくためには、今後、どのような連携が必要なのか。また、各創業支援事業者が何をしていくべきなのかなどを議論しながら、新たな創業支援ネットワークの価値を作っていく必要がある。また、社会情勢の変化(特にIT化)に対応した創業支援の在り方、やり方の変革が求められる。	
支援により目指す成果(具体的にご記入下さい)	一人の創業希望者をそれぞれ創業支援事業者が連携して、創業まで育てていくこと。そのためには、創業支援事業者の強みを創業支援事業者がお互いに理解し、創業希望者の情報を共有しながら、創業希望者のステージに合わせて支援をしていくべき、と考える。一つの創業支援事業者が支援した後、別な創業支援事業者につないでいき、絶え間ない支援策をネットワークの中で作り上げていくことが求められる。。また今の時代に合った創業(特に地域課題解決を果たしたい熱意ある起業家)の支援を目指したい。	
アドバイザーに支援を受けた内容(具体的にご記入下さい)	これからの創業の潮流は、地域などの課題を発見し、それを解決する意味を見出すことが重要であり、そこにITやクラウドなどのテクノロジーで効率化を図り、シェアリングエコノミー等の手法で新たなビジネスを展開していくことが求められる。また、本気で考えることができる熱意ある起業家を発掘することが大切なので、創業支援ネットワークで社会課題解決に向けた明確な世界観(ビジョン)をつくる必要がある。	

支援を受け改善又は解決された内容 (具体的にご記入下さい)	今後、社会情勢（IT化）の変化に伴う創業支援事業者の意識変革、金融機関にとっての融資以外の支援策は何か？、創業支援として注力する創業テーマは何か？その戦略は？などを、創業支援ネットワークの中で議論していきたい。また、まずは創業支援事業者側から変革することも大切だと思うので、ネットワーク会議をオンライン会議で行ったり、創業相談の情報をクラウドシステム等で共有するなど、今後取り組んでいきたい。森戸氏からのアドバイス等により、創業支援ネットワークによる今後の議題が明確になった。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	④人材育成のカリキュラムやツールを策定できた 第3回フォローアップ（実地）の実施内容（今回の参加者（創業支援事業者）を含めた森戸氏による公開講座）を決めることができた。
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	なし	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。（EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。） アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 アンケート回答者の全員から、「今後、創業支援事業に取り組むにあたって有意義な情報を得られた」と回答があった。	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	④予算以外で、今後取り組む事項がある
事業の最終的な目指す姿	シェアリングエコノミーや地域人材の育成・活用など地域ビジネスに必要な情報が得られて、本市における創業支援事業者による支援施策に反映させられ、あらたな創業支援ネットワークの価値を上げること。	

**6. 地域情報化アドバイザー支援の様子**  
 今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真（JPEG）」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

